

中観山昭和寺改修のための募金趣意書

(大阪万博ラオスパビリオン保存のお願い)



長野県諏訪市霧ヶ峰強清水に建てられている中観山
70年開催された大阪万博ラオスパビリオンを翌年
移築したものです。ラオスよりパビリオンと木鐸などの展示宝物の
寄贈を受けました。本尊は同じく万博の法輪閣内(古河パビリオン
の前)に設置された世界平和観音の立像であります。

仏門の身ながら日中戦争の惨禍を体験した故山崎良順師が、強く
世界平和を祈願し、負傷して痛む足を引きずりながら、広く浄財を
集め作成された観音像でした。大会終了後、その観音を霧ヶ峰に祀
りたいという師の願いが叶って、昭和寺が建てられたのでした。

その後毎夏、世界平和祈願全戦没者慰霊法要を開催して今日に至
っています。

1972年、大阪万博基金の補助を受けて隣接して青少年研修会
館も建てられ、良順師の存命中は毎夏『東南アジア学生ゼミナール』
を開催、アジアの学生たちと日本の学生たちの理解と交流のために
努力して来ました。

平成8年、良順師が亡くなり、孫の入院大圓が遺志を継ぎまし
たが、まだ若年でもあり十分な活動が出来ないままに過ぎました。

平成18年の全戦没者慰霊法要のあと、理事会で研修会館の抜け
そうな床と雨漏りの修理をすることに決め、補修しました。

しかし問題は本堂です。パビリオンは元来一時的な建造物なので
簡単なベニヤ板で作られているのです。良順師存命中は会の活動も
活発で、こまめに手入れして来ましたが、中心になっていた方々が
殆ど高齢でお亡くなりになりました。今は現理事長が遠く鹿児島か
ら法要の支援をしているばかりですので、傷みが激しい状態です。

記念すべき建造物保存のため、広く呼びかけ募金を集めたいと思
います。目標は500万円。何とぞご協力をお願い申し上げます。



(財)世界平和同願会理事長 入院重朝

〒895-1402 薩摩川内市浦之名130

0996-44-3586

郵便振替口座 02030-6-20427

世界平和同願会